

まちづくり戦略関係

1 まちづくり戦略

(1) 移住・定住の促進

ア 移住・定住ワンストップ窓口の運営

移住関連情報を集約し、移住相談のためのワンストップ窓口を運営した。

イ 移住支援補助金

東京圏から県内企業に就職、起業又はテレワークのため市内へ移住した者に対し補助金を支給した（7件）。

ウ 移住・定住PR

(ア) 首都圏在住者向けの移住フェアへの出展、都内での相談会の開催

(イ) 雑誌、ウェブサイト、SNSなどの各種メディアを通じたPR活動の展開

エ 雇用・移住・定住促進協議会

(ア) 構成団体

鹿沼商工会議所・栗野商工会・鹿沼公共職業安定所・鹿沼相互信用金庫・鹿沼市（産業振興課・まちづくり戦略課）

(イ) 移住・定住促進部会としての事業展開

a 移住・定住促進のためのPR活動

b 移住体験モニターツアーの開催

c 移住体験施設おためしの家「いちごいち家」の運営

(2) 地域おこし協力隊

ア 事業概要

起業・創業・継業等により、鹿沼で夢の実現を目指す人を応援するとともに、地域課題の解決に向けた取組を促進する。

イ 事業内容

大芦川流域の観光公害対策とアウトドアアクティビティの開発をテーマに委嘱した隊員への支援を引き続き実施した（小村あづさ隊員）。

2 水資源対策

(1) 思川開発事業の総合調整

ア 水源地域及び導水路地域が不利益を被らないよう、当該地区の地域振興及び生活環境整備等の支援を行った。

ダム対策活動支援補助金 4団体

イ 水源地域・導水路地域の地域整備事業について、県及び水資源機構と協議・調整を行い、地域からの要望等に対応した。

(2) 東大芦川ダム建設事業中止に伴う対応

ア 中止に伴う治水・利水・地域振興等の代替事業の進捗管理を行った。

イ 中止に伴う事業として県が整備をすることとなっている「もみじの里公園」について、地元及び県と調整を行い、整備内容について協議を進めた。

ウ 中止に伴い県が実施する大芦川の河川改修については、年度末に進捗を確認した。

3 道の駅整備

(1) 花木センター「道の駅化」の推進

ア サウンディング型市場調査の実施 8月8日～8月12日

道の駅化に向けて民間事業者の意見、アイデアを聞くために実施し、12事業者が参加した。結果は次のとおりである。

(ア) 設計、建設及び運営のそれぞれの分野で参画可能という意見があったため、道の駅化の可能性はあると感じられた。

(イ) 施設の老朽化や、バリアフリー、高低差の解消が課題である。

(ウ) 施設整備の方針と、その施設をどう運営して長く存続する体制にするか検討が必要である。

イ 道の駅視察

令和4年11月

道の駅ましこ（益子町）、道の駅那須高原友愛の森（那須町）、他道の駅12か所（県内11、県外1）